

光ファイバー網活用による黒部川流域の危機管理体制

目的

黒部工事事務所では、防災対策及び公共施設の維持管理の高度化を目指し、光ファイバーネットワーク網の整備を進めています。同時に流域自治体への各種防災情報等のデータや画像等の情報を提供し、地域との連携を図り、より正確かつ迅速な危機管理システムを構築することを目的としています。

整備概要

現在、光ファイバーネットワーク網を利用し、CCTVカメラによるLIVE画像、防災情報（水文、海象観測データ）については黒部工事事務所ホームページを通して、一般に公開しております。また、黒部市役所、宇奈月町役場への光ケーブル接続により、各役所に専用モニター（タッチパネル式）を設置し、同様にLIVE画像や防災情報が閲覧できます。

さらに、黒部市と宇奈月町とのデジタル情報ネットワーク（自治体LAN）を利用し、河川管理者の黒部工事事務所と水防管理者の各市町とのテレビ会議が可能となっています。

今後、国土交通省内の他事務所との相互デジタルネットワーク網の整備により、道路情報の提供や、管内の入善町、朝日町との連携を図り、危機管理システムの拡充を予定しております。

